

原著論文

フランシェとサヴァチェが記載した  
神奈川県産シダ植物と単子葉植物の基準標本

Plant Type Specimens from Kanagawa, Japan,  
taxonomically described by A. R. Franchet and P. A. L. Savatier:  
Ferns and Monocots

田中徳久<sup>1)</sup>・勝山輝男<sup>1)</sup>・大西 亘<sup>1)</sup>

Norihisa TANAKA<sup>1)</sup>, Teruo KATSUYAMA<sup>1)</sup> & Wataru OHNISHI<sup>1)</sup>

**Abstract.** Plant type specimens and related materials deposited at the herbarium of Museum national d'Histoire naturelle in Paris (MNHN, P) are taxonomically re-examined. Those specimens were collected by French naval surgeon P. A. Ludovic Savatier (1830-1891) and were studied by A. R. Franchet (1834-1904). Most of the specimen images are shown in the botanical specimen database of the museum, but registration information about collection is often insufficient. Additional complementary data obtained in this investigation such as collection date, locality, collector etc., are registered together with the specimen images in the botanical database of Kanagawa Prefectural Museum of Natural History. Among them, 77 type materials of fern and monocot groups are reported with taxonomical comments.

**Key words:** Ludovic Savatier, P. A., Franchet, A. R., type materials, Kanagawa Prefecture

はじめに

ポール・アメデ・ルドヴィック・サヴァチェ  
Paul Amedee Ludovic Savatier (1830-1891 ; 以下サヴァチェと表記) はフランス海軍の一等外科医で、江戸幕府が開設した横須賀製鉄所の医官として 1866 年 (慶応 2 年) 7 月に来日した。倒幕後も存続した製鉄所に勤務し、1871 年 12 月から約 1 年間帰国したが、1873 年 1 月 (竹中 (2013) には、1873 年 11 月との記述がある) に再来日

し、1876 年 1 月、日本を後にした。サヴァチェは勤務の合間に横須賀や横浜、鎌倉、箱根などで植物を採集した。採集した標本は、私設の標本庫に所蔵したほか (後にロンドンのキュー植物園に収蔵)、当時パリのエマニュエル・ドレイク・デル・カステローロ Emmanuel Drake del Castillo (1855-1904 ; 以下ドレイクと表記) の私設植物研究所にいたアドリアン・ルネ・フランシェ Andrien René Franchet (1834-1904 ; 以下フランシェと表記) の元やフランス国立自然史博物館に送った。ドレイクの私設植物研究所の標本は、その後、フランス国立自然史博物館に収められたため、フランス国立自然史博物館にはサヴァチェの標本がかなり重複して収蔵されている (大場、

<sup>1)</sup> 神奈川県立生命の星・地球博物館  
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 449  
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History  
499 Iryuda, Odawara, Kanagawa 250-0031, Japan  
田中徳久 : tanaka@nh.kanagawa-museum.jp

1996, 2003 ; 西野・Porak, 2011 ; 竹中, 2013)。

サヴァチェの採集した植物標本を研究したのは前出のフランシェで、サヴァチェと共著で『Enumeratio plantarum in japonia sponte crescentium, accedit determinatio herbarum in libris japonicis So-Mokou Zoussets xylographice deloneatarum』(Franch & Savatier, 1873-1875, 1877-1879 ; 以下日本植物目録と表記)を著し、多くの日本産植物を新種記載し、神奈川県内(特に横須賀附近)を基準産地とする植物も多い。日本植物目録は、現在は2巻にまとめられているが、もとは1巻が2分冊、3巻が3分冊で出版された(小原, 1988 ほか)。

筆者らは、2014年5月27日～6月6日、フランス国立自然史博物館 Museum National d'Histoire Naturelle (MNHN) の植物標本庫 (P) を訪れ、サヴァチェが来日中に神奈川県で採集した植物のうち、基準標本となっている植物の標本調査を行った。近年、各標本庫では、収蔵標本のデータベース化が画像情報も含め進行しており、インターネット上で公開されている例も多い。しかし、100万点を超えるような収蔵標本を有する大規模な標本庫では、画像情報の公開が先行し、採集地や採集年月日、採集者名、採集者の標本番号などの標本の属性情報の一部が公開されているに過ぎない例もあり、その全部が、必要な情報を検索できる状態にないのが現状である。そのため、正確な自然史情報を集積するには、それらのデータベースを有効に活用しつつも、実際の標本庫における標本調査によって、同定の確認はもとより、採集地や採集年月日などの属性情報の詳細を確認することが必要不可欠である。フランス国立自然史博物館で公開している標本データベース (<http://science.mnhn.fr/institution/mnhn/search> ; 以下 MNHN-DB と表記) でも、標本画像の公開を先行して進めているようであるが、標本番号と植物名、採集地域(今回の例では“Sector ASI”で登録)のみが登録、公開されているものも多い。今回の調査でも、これまで知られていなかったと思われる基準標本や未登録の標本を確認した。

本報では、フランシェとサヴァチェが記載した神奈川県を基準産地とする植物の基準標本とその関連標本について、日本植物目録に引用されている標本のラベルに記載されている採集地や採集年月日、採集者名、採集者の標本番号などの標本の属性情報、後に貼付された同定票の情報などについて、シダ植物と単子葉植物に関して報告する。

## 標本調査と画像の収集

神奈川県植物誌調査会編 (2001) において、神奈川県を基準産地とする維管束植物の学名をまとめた小崎 (2001) の目録より、フランシェとサヴァチェが記載した植物を抽出し、標本調査を実施したが、一部、小崎 (2001) の目録から漏れていたものを日本植物目録の記載から追加した。

標本調査により確認した植物標本は、Nikon 製デジタル一眼レフカメラ D800E と AF-S NIKKOR 28mm f/1.8G により内臓フラッシュを使用して手持ちで撮影し、4,912 × 7,360 pixel の画像を収集した。得られた標本画像から、ラベルに記されている内容を判読し、標本の属性情報(学名、採集地、採集年月日、採集者名、採集者の標本番号、標本庫の標本番号など)をデジタルデータ化した。収集したオリジナル標本の画像と属性情報は、神奈川県立生命の星・地球博物館の収蔵資料管理システムの維管束植物画像 (KPM-NX) に登録した。

なお、ここで報告する標本には、サヴァチェがフランス国立自然史博物館へ送ったものとドレイクの植物研究所に送った標本が後にフランス国立自然史博物館に移管されたものなどがあり、ラベルの体裁や筆跡が複数存在し、サヴァチェのオリジナルラベルにサヴァチェ以外の採集者名があるものを一部含む。

## 結果と考察

以下にフランシェとサヴァチェが記載した神奈川県を基準産地とする植物の基準標本とその関連標本について、シダ植物と単子葉植物に関して報告するが、小崎 (2001) や神奈川県植物誌調査会編 (2001) で神奈川県を基準産地とするとされている *Juncus leschenaultii* J. Gay β. *radicans* Franch. & Sav. や *Carex thunbergii* Steud. β. *quinquenervis* Franch. & Sav., *Carex chaetorhiza* Franch. & Sav. β. *stenostachys* Franch. & Sav., *Bambusa chino* Franch. & Sav., *Pollinia japonica* Miq. β. *monostachya* Franch. & Sav., *Asplenium japonicum* Thunb. β. *deflexum* Franch. & Sav., *Aspidium laxum* Franch. & Sav. の標本は今回の調査で標本を見出すことはできなかった。標本を確認したのは、シダ植物 13 分類群、単子葉植物 64 分類群の合計 77 分類群であった。なお、今回の調査では標本を確認できなかったが、*Bambusa chino* Franch. & Sav. (Savatier, No. 1493bis, P00633803; *ibid.*, P00633804) は MNHN-DB に属性や標本画像が公開されており、*Aspidium laxum* Franch. & Sav.

は神奈川県植物誌調査会編 (2001) で「(Savatier P) 写真 -15」として基準標本が引用され、写真が示されている。

### 標本目録

#### 凡例

1. 目録の配列は日本植物目録の種番号に従った。
2. 各種の見出しは、日本植物目録の種番号、学名（学名中の種小名の一文字目は小文字に、命名者名の“et”は“&”に表記を統一した）および出典（日本植物目録の掲載頁）とした。
3. 各種の記述は、“Hab”の内容をフランス語のまま抜粋したもの（“ ”内に記した）、今回確認し日本植物目録で引用されている標本の属性情報（採集地、採集年月日、採集者名、採集者の標本番号、標本庫の標本番号）、本報での図番号（本報で標本画像を示したもののみ）、コメントの順で記した。
4. コメント中の正名、異名の記述は、神奈川県植物誌調査会編 (2001) や米倉・梶田 (2003-) を参考にし、一部は著者の考えを示した。また、標本に貼付されている同定票の記入者名（日本語名など）や学名（属名や命名者名）は情報を補った。
5. 本報で標本画像を示したものは、同定やラベルの記載内容についてコメントしたものと MNHN-DB に未登録と思われるものに限った。
6. 本文中に示した標本庫の機関略号 P は、フランス国立自然史博物館植物標本庫を示す。

**1798. *Platanthera florentii* Franch. & Sav.,**  
Enum. Pl. Jap., 2(1): 32 (1877), 2(2): 514 (1878)  
“Hab. in silvis umbrosis regionis montanae: Nippon media, in jugo Hakone (Savatier, n.1308). Fl. Aug. Hakone, Savatier, No. 1308, P00370949; Hakone, 30. Aug. 1872, Savatier, No. 1308, P00370950.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1308) 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00370949) には “Isotype” のラベルが貼付され、もう 1 シートの標本 (P00370950) には “Type” のラベルが貼付されている。*Platanthera florentii* Franch. & Sav. (ジンバイソウ) は現在も正名である。

**1845. *Dioscorea tenuipes* Franch. & Sav.,**  
Enum. Pl. Jap., 2(1): 48 (1877), 2(2): 523 (1878)  
“Hab. in sepibus: Nippon media, circa Yokoska (Savatier, n. 1248bis). Fl. Jun. Yokoska, Savatier, No. 1248bis, P00299717; ibid., P00299718.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier,

n. 1248bis) 2 シートを確認した。*Dioscorea tenuipes* Franch. & Sav. (ヒメドコロ) は現在も正名である。

**1858. *Disporum sessile* D. Don γ. *stenophyllum* Franch. & Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(1): 51-52 (1875)  
“Hab. cum typo, circa Yokoska. Yokoska, Savatier, s.n., P02108015 (Fig. 1).

日本植物目録に採集者の標本番号は示されていないが、オリジナルと思われるラベルに変種名 “γ. *stenophyllum*” と書かれた標本 (Savatier, s.n., P02108015, Fig. 1) 1 シートを確認した。また、オリジナルと思われるラベルには品種名が “form. *angustiflora*” と書かれているが、1926 年の G. Koizumi (小泉源一) による “*Disporum sessile* D. Don var. *stenophyllum* Franch. & Sav. の同定票が貼付された横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P02108011, Fig. 2) も確認した。この 2 シートの標本は *Disporum sessile* D. Don γ. *stenophyllum* Franch. & Sav. を基礎異名とするホソバハウチャクソウ *Disporum sessile* D. Don ex Schult. & Schult. f. form. *stenophyllum* (Franch. & Sav.) Hayashi ex H. Hara に相当するものであった。この他、“Isotype” のラベルが貼付された横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 1247, P 未登録, Fig. 3; ibid., P00730458; ibid., P00730459; ibid., P00730460) 4 シートを確認したが、これらの標本はオリジナルラベルに “*Disporum sessile* D. Don” のみが記されており、変種名は書かれておらず、後に変種名 “var. *stenophyllum* Franch. & Sav.” が追記されているものであった。これらの標本はハウチャクソウ *Disporum sessile* D. Don ex Schult. & Schult. f. form. *sessile* であると判断した。

**1919. *Allium nipponicum* Franch. & Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(1): 76-77 (1877), 2(2): 527 (1878)  
“Hab. in siccis incultis: Nippon, circa Yokoska sat frequens (Savatier, n. 1279); in provinciâ Isé (Savatier, n. 3699). Fl. Jun. , “Icon. Jap. —Sô mokou Zoussetz, vol. 6, fol. 41, sub: Nobirou. Yokoska, Savatier, No. 1279, P00747883; ibid., P00747885; ibid., P00747886; ibid., P 未登録 (Fig. 4).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1279) 4 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (Fig. 4) は、P の標本番号が貼付されておらず、未登録の標本であると思われる。また、1 シートの標本 (P00747883) には、2009 年の J. Bourguignon による “*Allium nipponicum*

Franch. & Sav.”の同定票が貼付され、“Syntype”と記されており、2 シートの標本 (P00747885; P00747886) には“Syntype”のラベルが貼付されている。なお、採集者の標本番号は記されていないが、“Syntype”のラベルが貼付されている横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P00747887) 1 シートも確認した。これらの標本は *Allium macrostemon* Bunge (ノビル) であった。現在、*Allium nipponicum* Franch. & Sav. は *Allium macrostemon* Bunge の異名とされている。

**1935. *Funkia longipes* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 82-83 (1877), 2(2): 529 (1878)**  
 “Hab. in umbrosis regionis montanæ: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 1297bis). Fl. Jul. Hakone, Savatier, No. 1297bis, P02053438; *ibid.*, P02053439.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1297bis) 2 シートを確認した。*Funkia longipes* Franch. & Sav. は *Hosta longipes* (Franch. & Sav.) Matsum. (イワギボウシ) の基礎異名である。

**1967. *Aneilema oligantha* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 94 (1877), 2(2): 532 (1878)**  
 “Hab. in orizetis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1218bis). Fl. Sept. , “Icon. Jap. —Sô mokou Zoussetz, vol. 2, fol. 15, sub: Ibo gusa, Midsou take ba. Yokoska, Savatier, No. 1218bis, P02088013.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1218bis) 1 シートを確認した。この標本は *Murdannia keisak* (Hassk.) Hand. -Mazz. (イボクサ) で、2010 年の R. B. Faden による *Aneilema oligantha* Franch. & Sav. の同定票が貼付されている。*Aneilema oligantha* Franch. & Sav. は、*Murdannia keisak* (Hassk.) Hand. -Mazz. (イボクサ) の異名とされている。

**1970. *Monochoria plantaginea* (Roxb.) Kunth  $\beta$ . *cordifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 95-96 (1877)**  
 “Hab. cum typo circa Yokoska, sed frequentior (Savatier, n. 1217bis). Fl. Sept.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1217bis) や、 $\beta$ . *cordifolia* と書かれた標本は見出せなかったが、*Monochoria plantaginea* Kunth とされる横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 1217, P02172331; *ibid.*, P02172333) 2 シートを確認した。これらの標本

は *Monochoria vaginalis* (Burm. f.) C. Presl (コナギ) であった。*Monochoria plantaginea* (Roxb.) Kunth  $\beta$ . *cordifolia* Franch. & Sav. は *Monochoria vaginalis* (Burm. f.) C. Presl (コナギ) の異名とされている。

**1973. *Luzula campestris* (L.) DC.  $\gamma$ . *capitata* Miq. ex Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 97 (1877)**  
 “Hab. in herbidis probabiliter per totam Japoniam, v. c. Kiouisiou, circa Nangasaki. Nippon, ad Yokohama, Yokoska, Yedo. Yeso, circa Hakodate.

日本植物目録には採集者の標本番号が示された標本は引用されていない。横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 1258, P01762644; Savatier, No. 1359, P01762645 ほか) や横浜で採集された標本 (Savatier, s.n., P01762671) を確認した。*Luzula campestris* (L.) DC.  $\gamma$ . *capitata* Miq. ex Franch. & Sav. は *Luzula capitata* (Miq.) Nakai (スズメノヤリ) の基礎異名である。

**1975. *Juncus glaucus* Ehrh. var. *yokoscensis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 97-98 (1877)**  
 “Hab. in scrobibus: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1353bis). Fl. Jul. Yokoska, Savatier, No. 1353bis, P00738767.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1353bis) 1 シートを確認した。*Juncus glaucus* Ehrh. var. *yokoscensis* Franch. & Sav. は *Juncus yokoscensis* (Franch. & Sav.) Satake (イヌイ) の基礎異名である。

なお、今回確認した標本は、田中ほか (2015) により、神奈川県絶滅植物の証拠標本としても報告したものである。

**1976. *Juncus papillosus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 98 (1877), 2(2): 533 (1878)**  
 “Hab. in humidis arenosis: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 1355); circa Yokoska, in scrobibus (*id.*, n. 2521). Fl. Jun. Yokoska, Savatier, No. 2521, P00738749; *ibid.*, P00738750; Hakone, No. 1355, P00738752.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1355; n. 2521) 3 シートを確認した。これらの標本には、それぞれ 1994 年の F. Miyamamoto (宮本 太) による “*Juncus papillosus* Franch. & Sav.” の “Lectotype” の同定票 (Savatier, No. 2521, P00738749)、同じく “Isolectotype” の同定票 (Savatier, No. 2521, P00738750)、2008 年の F. Miyamamoto (宮本 太) による “*Juncus papillosus* Franch. & Sav.” の “Syntype” の同定

票 (Savatier, No. 1355, P00738752) が貼付されている。 *Juncus papillosus* Franch. & Sav. (アオコウガイゼキショウ) は現在も正名である。

**1989. *Cyperus complanatus* C. Presl  $\beta$ . *dimidiata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 536 (1878)**

“In uliginosis circa Yokoska, cum formâ typicâ mixte crescens.

Yokoska, Savatier, No. 2338, P01702333; *ibid.*, P01702334; *ibid.*, P01702335.

日本植物目録には、採集者の標本番号は示されていないが、この変種名 ( $\beta$ . *dimidiata*) の横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 2338, P01702333; *ibid.*, P01702335) 2 シートを確認し、変種名のない同じ採集者の標本番号が記された標本 (Savatier, No. 2338, P01702334, Fig. 5) 1 シートを確認した。小崎 (2001) は本種の和名を「カヤツリグサ属の 1 種」としているが、これらの標本は *Cyperus flavidus* Retz. (アゼガヤツリ) であった。 *Cyperus complanatus* C. Presl  $\beta$ . *dimidiata* Franch. & Sav. は *Cyperus flavidus* Retz. の異名とされている。

**1992. *Cyperus nipponicus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 102 (1877), 2(2): 537 (1878)**

“Hab. in locis uliginosis: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 1366, 3241). Fl. Jul.

Hakone, Savatier, No. 1366, P00587051; *ibid.*, P00587052; *ibid.*, Savatier, No. 3241, P00587054.

日本植物目録に引用されている箱根で採集された標本 (Savatier, n. 1366, n. 3241) 3 シートを確認した。これらは *Cyperus nipponicus* Franch. & Sav. (アオガヤツリ) で、“Syntype” のラベルが貼付されていた。この他、日本植物目録に引用されている採集者の標本番号が記された横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 1366, P00587053, Fig. 6) 1 シートを確認したが、オリジナルラベルに “*Cyperus nitens* Retz.” と書かれており、1924 年の Nakai (中井猛之進) による “*Juncellus pygmaeus* C. B. Clarke” の同定票が貼付されていた。この標本は *Cyperus extremiorientalis* Ohwi (ヒメアオガヤツリ) であり、ラベルの貼り間違いや採集者の標本番号の誤記の可能性がある。 *Cyperus nipponicus* Franch. & Sav. (アオガヤツリ) は現在も正名である。

**1993. *Cyperus pygmaeus* Rottb.  $\beta$ . *filifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 102 (1877)**

“Hab. circa Yokoska, cum formâ typicâ (Savatier, n. 2441). Fl. Aug.

Yokoska, Savatier, No. 2441, P01667642; *ibid.*, P01667643.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2441) 2 シートを確認した。この他にも、“Isotype” のラベルが貼付されている横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P00587055; Savatier, No. 2339, P00587057) を確認した。これらはいずれも *Cyperus extremiorientalis* Ohwi (ヒメアオガヤツリ) であった。また、今回は標本を見出せなかったが、MNHN-DB では 1 シートの標本 (Savatier, No. 2339, P00587056) が Holotype とされている。

**1996. *Cyperus paniciformis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 103 (1877), 2(2): 537-538 (1878)**

“Hab. in orizariis: Nippon, juxta Yokoska (Savatier, n. 1368). Fl. Jul.

Yokoska, Savatier, No. 1368, P00587032; Savatier, No. 1368, P00587033.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1368) 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00587032) には “Type” のラベルが貼付されている、もう 1 シートの標本 (P00587033) には “Isotype” のラベルが貼付されているが、採集地が記載されていない。 *Cyperus paniciformis* Franch. & Sav. は、 *Cyperus iria* L. (コゴメガヤツリ) の異名とされている。

**2000. *Cyperus hakonensis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 104-105 (1877), 2(2): 538-539 (1878)**

“Hab. in locis uliginosis: Nippon, in monte Hakone (Savatier, n. 1365). Fl. Jul.

Hakone, Savatier, No. 1365, P01869303; *ibid.*, P01869305; *ibid.*, P01869306.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1365) 3 シートを確認した。 *Cyperus hakonensis* Franch. & Sav. は *Cyperus flaccidus* R. Br. (ヒナガヤツリ) の異名とされている。

**2000. *Cyperus hakonensis* Franch. & Sav.  $\beta$ . *vulcanicus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 104-105 (1877), 2(2): 538-539 (1878)**

“Hab. in sulphuris fodinâ, montis Hakone (Savatier, n. 3483). Fl. Jun.

Hakone, 1873, Savatier, No. 3483, P00584183 (Fig. 7); Hakone, P00584184; Hakone, 1873,

P00584185.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3483) 3 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00584183, Fig. 7) には、“Holotype” のラベルが、残りの 2 シートの標本 (P00584184; P00584185) には “Isotype” のラベルが貼付されていた。北川・堀内 (2001) は *Cyperus hakonensis* Franch. & Sav. *β. vulcanicus* Franch. & Sav. (コヒナガヤツリ) は火山地域に生じた *Cyperus flaccidus* R. Br. (ヒナガヤツリ) の小型の一型としている。

**2002. *Cyperus textori* Miq. var. *laxa* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 539; 1998. *Cyperus krameri* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 104 (1877), 2(2): 538 (1878)**

“Hab. in scrobibus: Nippon, juxta Yokoska (Savatier, n. 2888bis). Fl. Aug. as *Cyperus karameri*.”

Yokoska, Savatier, No. 2888bis, P00584135 (Fig. 8); *ibid.*, P00584136 (Fig. 9).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2888bis) 2 シートを確認した。このうち 1 枚のシート (P00584135, Fig. 8) には、6 点の標本が貼付され、1 点は *Cyperus amuricus* Maxim. (チャガヤツリ)、残りの 5 点は *Cyperus microiria* Steud. (カヤツリグサ) であった。このシートには “Isotype” のラベルが貼付され、1977 年の J. Raynal による “a: *Cyperus amuricus* Maxim.” と “b: *Cyperus microiria* Steud.” の同定票が貼付されていた。もう 1 枚のシート (P00584136, Fig. 9) には *Cyperus amuricus* Maxim. (チャガヤツリ) が 1 点のみ貼付されており、“Isotype” のラベルが貼付され、1924 年の T. Nakai (中井猛之進) による “*Cyperus amuricus* Maxim.” の同定票が貼付されている。*Cyperus textori* Miq. var. *laxa* Franch. & Sav. は *Cyperus amuricus* Maxim. (チャガヤツリ) の異名とされている。

北川・堀内 (2001) は *Cyperus amuricus* Maxim. var. *amuricus* を“狭義チャガヤツリ (チャイロクグガヤツリ)”、var. *japonicus* Miq. をコチャガヤツリとし、“狭義チャガヤツリ (チャイロクグガヤツリ)” は小穂が長さ 10-25mm、鱗片が長さ 2-2.2mm、瘦果が長さ約 1.3mm あるのに対し、コチャガヤツリは小穂が長さ 5-15mm、鱗片が長さ 1.5-1.8mm、瘦果が長さ 0.8-1mm と小さいことで区別され、神奈川県内に普通にみられるものはコチャガヤツリであるとした。また、*Cyperus textori* var. *laxa* Franch. & Sav. は

“狭義チャガヤツリ” の異名とし、その基準標本 (Savatier, No. 2888bis) は“狭義チャガヤツリ” の神奈川県産の唯一の記録として引用された。ところが、今回確認した標本 (Savatier, No. 2888bis, P00584135, Fig. 8; *ibid.*, P00584136, Fig. 9) はいずれも高さ 10 ~ 15cm、小穂長 1cm 程度のもので、鱗片長や瘦果の大きさを測定しなかったもので、断言はできないが、北川・堀内 (2001) の言う “コチャガヤツリ” の可能性がある。また、*Cyperus amuricus* Maxim. の Isotype とされる Amur 産の標本 (Maximowicz, s.n., P00584132, Fig. 10) も確認したが、これも小穂は長さ 1cm 未満のものであった。広義チャガヤツリ *Cyperus amuricus* Maxim. の種内分類群については基準標本を含めた検討が必要と考える。

**2005. *Cyperus orthostachyus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 106 (1877), 2(2): 539-540 (1878)**

“Hab. in orizetis & scrobibus: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1369, 2512). Fl. Jun. Sept. Yokoska, 1867, Savatier, No. 1369, P00752547.”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1369) 1 シートを確認した。この標本には、“Isotype” のラベル (“Syntype” と手書き) が貼付されていた。*Cyperus orthostachyus* Franch. & Sav. (ウシクグ) は現在も正名として扱われている。

**2011. *Kyllinga monocephala* Rottb. var. *leirolepis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 108 (1877), 2(2): 542 (1878)**

“Hab. in graminosis & locis apertis silvarum: Japonia (Siebold); Nippon, circa Yokoska frequens (Savatier, n. 1379). Fl. Jul.

Yokoska, Savatier, No. 1379, P00065725; Yokoska, 1867, Savatier, No. 1379, P00065726; Yokoska, Savatier, No. 1379, P00065727; Yokoska, 1868, Savatier, No. 1379, P00065728; Yokoska, Savatier, No. 1379, P00065729.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1379) 5 シートを確認した。*Kyllinga monocephala* Rottb. var. *leirolepis* Franch. & Sav. は *Kyllinga brevifolia* Rottb. var. *leirolepis* (Franch. & Sav.) H. Hara (ヒメクグ) の基礎異名である。

**2014. *Scirpus yokoscensis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 109 (1877), 2(2): 543 (1878)**

“Hab. in orizetis: Nippon, circa Yokoska semel

tantum observata (Savatier, n. 1385bis).

Hakone, Savatier, 1385bis, P00065955 (Fig. 11).

日本植物目録に示されている採集者の標本番号が記された上記の標本を確認したが、その採集地は“Hakone”とされ、種名は、“*Scirpus acicularis* L.”と記されていた (P00065955, Fig. 11)。また、日本植物目録で示された採集者の標本番号とは異なるが、横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 1385tes, P00067937) を確認した。ここで確認した標本は *Eleocharis acicularis* (L.) Roem. & Schult. var. *longiseta* Svenson (マツバイ) であった。*Scirpus yokoscensis* Franch. & Sav. は、*E. acicularis* (L.) Roem. & Schult. var. *longiseta* Svenson の異名とされている。

**2017. *Scirpus attenuatus* Franch. & Sav., Enum.**

Pl. Jap., 2(1): 110 (1877), 2(2): 543 (1878)

“Hab. in aquosis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1381, 2779). Fl. Aug. Sept.

日本植物目録に示されている採集者の標本番号が記された標本は見出せなかったが、横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n. P00065904, Fig. 12) を確認した。この標本には、“Type” のラベルが貼付されており、MNHN-DB では、Holotype とされている。*Scirpus attenuatus* Franch. & Sav. は、*Eleocharis attenuata* (Franch. & Sav.) Palla (セイタカハリイ) の基礎異名である。

**2018. *Scirpus hakonensis* Franch. & Sav.,**

Enum. Pl. Jap., 2(1): 110 (1877)

“Hab. in turfosis regionis montanae: Nippon, in vicinitate lacûs Hakone (Savatier, n. 1384bis). Fl. Jul.

Hakone, Savatier, No. 1384bis, P00068057; *ibid.*, P00068073.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1384bis) 2 シートを確認した。これらの標本には、ラベルに種名が “*Scirpus wichurae* Boeck.” と併記されている。また、うち 1 シートの標本 (P00068057) には、Dickins と記されており、採集者は M. W. Dickins だと思われる。小崎 (2001) は、*Scirpus hakonensis* Franch. & Sav. の和名を「ミツカドシカクイ」としているが、今回確認した標本は *Eleocharis wichurae* Boeck. (シカクイ) であった。

**2020. *Scirpus mitratus* Franch. & Sav., Enum.**

Pl. Jap., 2(1): 111 (1877), 2(2): 544 (1878)

“Hab. in orizetis & uliginosis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1384). Fl. Jul.

Yokoska, Savatier, No. 1384, P00067683; *ibid.*, P00067684; *ibid.*, P00067697; *ibid.*, P00067701

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1384) 4 シートを確認した。これらの標本には、1996 年の T. Dkeroïn & H. Falaise による “*Eleocharis kamtschatica*” の同定票が貼付されているほか、1 シートの標本 (P00067697) には、1888 年の C. B. Clarke による “*Eleocharis savatieri* C. B. Clarke” の同定票、1 シートの標本 (P00067701) には、1938 年の H. K. Svenson による “*Eleocharis savatieri* C. B. “Type”” の同定票、1 シートの標本 (P00067683) には、1888 年の C. B. Clarke による “*Eleocharis palustris* R. Br.” の同定票が貼付されている。これらの標本は *Eleocharis kamtschatica* (C. A. Mey.) Komar. (ヒメハリイ) であった。*Scirpus mitratus* Franch. & Sav. は、*Eleocharis kamtschatica* (C. A. Mey.) Komar. であるとされるが、*Scirpus mitratus* Griseb. の後続同名で無効名である。

なお、今回確認した標本は、田中ほか (2015) により、神奈川県の特産植物の証拠標本としても報告したものである。

**2023. *Scirpus lineolatus* Franch. & Sav., Enum.**

Pl. Jap., 2(1): 112 (1877), 2(2): 545 (1878)

“Hab. in locis humidis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1392). Fl. Aug.

Yokoska, No. 1392, P00070627; *ibid.*, 1392P00070628; *ibid.*, 1392P00070629.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1392) 3 シートを確認した。このうちの 1 シートの標本 (P00070627) には “Type” のラベルが、残りの 2 シートの標本 (P00070628; P00070629) には “Isotype” のラベルが貼付されていた。*Scirpus lineolatus* Franch. & Sav. は *Schoenoplectiella lineolata* (Franch. & Sav.) J. D. Jung & H. K. Choi (ヒメホタルイ) の基礎異名である。

**2024. *Scirpus mucronatus* L. var. *subleiocarpus***

**Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 112 (1877)**

“Hab. in locis humidis, in scrobibus, ad vias: Japonia (Buerger). Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1391). Fl. Jul.

Yokoska, Svatier, No. 1391, P00070836; *ibid.*, P00070837; *ibid.*, P00070838 (Fig. 13); *ibid.*, P00070839; *ibid.*, P00070840.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1391) は 5 シートあり、3 シートは

*Schoenoplectiella triangulata* (Roxb.) Hayasa. (カンガレイ)であったが、1シートの標本(P00070838, Fig. 13)は、*Schoenoplectiella triangulata* (Roxb.) Hayasa. (*Scirpus triangulatus* Roxb.; カンガレイ)と *Schoenoplectiella triqueter* (L.) Palla (*Scirpus triqueter* L.; サンカクイ)の2種が貼付されている。また、1シートの標本(P00070836)には、“Type”のラベルが貼付されている。*Scirpus mucronatus* L. var. *subleiocarpus* Franch. & Sav. は、*Schoenoplectiella triangulata* (Roxb.) Hayasa. (カンガレイ)の異名とされている。

**2026. *Scirpus pollichii* Godr. & Gren. var. *coriaceus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 113-114 (1877)**

“Hab. juxta aquas: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 1389). Fl. Jul.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1389) は見出せなかったが、別の採集者の標本番号が記された箱根で採集された標本 (Savatier, No. 2086, P00070988) や横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P00070987) を確認した。*Scirpus pollichii* Godr. & Gren. var. *coriaceus* Franch. & Sav. は、*Schoenoplectus triqueter* (L.) Palla (サンカクイ) の異名とされている。

**2029. *Scirpus eriophorum* Michx. var. *nipponicus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 114-115 (1877), 2(2): 545 (1878)**

“Hab. in herbidis humidis: Japonia (Siebold). Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1393); in tractu Hakone (id., n. 1393bis). Fl. April. Maj. Hakone, Savatier, No. 1393bis, P00071025; *ibid.*, P00071026; *ibid.*, P00071027.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1393bis) 3シートを確認したが、これらのラベルには、変種名 var. *nipponicus* は記されていない。一方、日本植物目録には引用されていないが、変種名 var. *nipponicus* が明記された箱根で採集された標本 (Savatier, No. 2029, P00071028; *ibid.*, P00071029) と横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P00071030) を確認した。これらの標本は *Scirpus wichurae* Boeck. (アイバソウ) であった。*Scirpus eriophorum* Michx. var. *nipponicus* Franch. & Sav. は *Scirpus wichurae* Boeck. の異名とされている。

**2051. *Chaetospora albescens* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 122 (1877), 2(2): 548**

(1878), 2(3): 789 (1879).

“Hab. in locis udis, circa Yokoska (Savatier, n. 1396). Fl. April.

Yokoska, Avril 1867, Savatier, No. 1396, P00076944.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1396) 1シートを確認した。この標本には、“Type”のラベルが貼付されていた。*Chaetospora albescens* Franch. & Sav. は、*Schoenus apogon* Roem. & Schult. (ノグサ) の異名とされている。

なお、この標本は、田中ほか (2015) により、神奈川県 の絶滅植物の証拠標本としても報告したものである。

**2059. *Carex hakonensis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 123-124 (1877)**

“Hab. in turfosis: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 1409). Fl. Maj.

Hakone, Avril 1871, Savatier, No. 1409, P00283654.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1409) 1シートを確認した。この標本 (P00283654) には “Isotype” のラベルが貼付されていた。また、日本植物目録に引用されていないが箱根で採集された標本 (Savatier, 2059, P00283657, Fig. 14) 1シートを確認したが、この標本には “Holotype” のラベルが貼付されていた。*Carex hakonensis* Franch. & Sav. (コハリスゲ) は現在も正名である。

**2060. *Carex krameri* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 124 (1877), 2(2): 551 (1878)**

“Hab. in locis humidis: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 3492). Fl. Jul.

Hakone, Savatier, No. 3492, P00283650; Hakone, 1874, Savatier, No. 3492, P00283651; Hakone, Savatier, No. 3492, P00283652; Hakone, 1875, Savatier, No. 3492, P00283653.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3492) 4シートを確認した。これらの標本には、“Type”のラベルが貼付されている。なお、これらのうち、1シートの標本 (P00283650) には、“Type”のラベルとスケッチ、記載文が貼付されており、2シートの標本 (P00283651; P00283653) のラベルには、“*Carex hakonensis* Franch. & Sav.”と書かれたものを取り消し線で消し、“*Carex krameri* Franch. & Sav.”と書かれていた。これらの標本は *Carex hakonensis* Franch. & Sav. (コハリスゲ) であった。*Carex krameri* Franch. & Sav. は *Carex hakonensis* Franch. & Sav. の異名とされている。

**2061. *Carex chaetorhiza* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 552-553 (1878); 2061. *Carex curaica* (non Kunth) Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 124 (1877)**

“Hab. in humidis arenosis: in Japoniâ legerunt Keiske & Siebold. Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 2213, 2216) et Kamakoura (id., n. 3501, 3502). Fl. Maj.

Yokoska, Savatier, No. 2213, P00277657; Kamakoura, 15. Avril. 1875, Savatier, No. 3502, P00277658.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2213; n. 3502) 2 シートを確認した。確認した標本のうちの 1 シートの標本 (Savatier, No. 2213, P00277657) には “Type” のラベルが貼付されており、もう 1 シートの標本 (Savatier, No. 3502, P00277658) には、“Syntype” と書かれている。これらの標本は *Carex arenicola* F. Schmidt (クロカワズスゲ) であった。*Carex chaetorhiza* Franch. & Sav. は *Carex arenicola* F. Schmidt の異名とされている。

**2067. *Carex albata* Boott ex Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap. 2(2): 553 (1878); 2067. *Carex argyrolepis* Maxim. ex Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap. 2(1): 126 (1877)**

“Hab. in locis umbrosis rupestribus regionis montanæ: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 1406, 3487, 3497); in silvis apertis subalpinis montis Fudsi yama (id., n. 3509). Fl. Maj. Jun. Hakone, 1874, Savatier, No. 3497, P00277533; Hakone, 1871, Savatier, No. 1406, P00277535.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1406; n. 3497) 2 シートを確認した。1 シートの標本 (Savatier, No. 1406, P00277535) には、“*Carex albata* Boot” と “*Carex argyrolepis*” が併記され、もう 1 シート (Savatier, No. 3497, P00277533) には、“*Carex albata* Boot” と記されていた。なお、日本植物目録に引用されている富士山で採集された標本 (Savatier, No. 3509, P00277534) も確認した。日本植物目録の *Carex albata* Boott の見出しには、“*albata* Boot. in Miq. Prol. 357 (nomen) & in herb. Mus. Parisiens! & Mus. Kew! *Carex argyrolepis* Maxim. in Fr. & Sav. Enum. . II, p. 126” と記されている。*Carex albata* Boott ex Franch. & Sav. (ミノボロスゲ) は現在も正名である。

**2070. *Carex planata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 126 (1877), 2(2): 555 (1878)**

“Hab. in locis humidis umbrosis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 2059), Fl. maj.

Yokoska, 1868, Savatier, No. 2059, P00294175; Yokoska, Savatier, No. 2059, , P00294176; ibid., P02208470.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2059) 3 シートを確認した。このうち、1 シートの標本 (P00294175) には、“Type” のラベルとスケッチが、1 シートの標本 (P00294176) には、“Isotype” のラベルが貼付されている。*Carex planata* Franch. & Sav. (タカネマスキサ) は現在も正名である。

**2080. *Carex thunbergii* Steud. γ. *platycarpa* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 129-131 (1877)**

“Hab. in turfosis: Nippon, in pratis spongiosis regionis subalpinae montium Hakone (Savatier, n. 1407). Fl. Maj.

Hakone, Savatier, No. 1407, P00302059.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1407) 1 シートを確認した。この標本は *Carex thunbergii* Steud. (アゼスゲ) であった。*Carex thunbergii* Steud. γ. *platycarpa* Franch. & Sav. は *Carex thunbergii* Steud. の異名とされている。

**2089. *Carex reinii* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 133 (1877), 2(2): 559-560 (1878)**

“Hab. in rupestribus: Nippon, in regione subalpina montium Hakone (Savatier, n. 3489).

Hakone, Svatier, No. 3489, P00294605 (Fig. 15).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3489) 1 シートを確認した。この標本には、“Type” のラベルとスケッチが貼付されており、オリジナルラベルには、判読できないが、サヴァチェではない採集者名が記されている。*Carex reinii* Franch. & Sav. (コカンスゲ) は現在も正名である。

**2091. *Carex bongardi* Boott var. *robusta* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 561 (1878)**

“Hab. in arenosis maritimis: Nippon, circa Yokoska frequens (Savatier, n. 1419, 2047); in insula Parry (id., n. 3504).

Yokoska, Savatier, No. 1419, P00302434; ibid., P00302435; ibid., P00302436; ibid., Savatier, No. 2047, P00302437; insula Parry, Avril. 1875, Savatier, No. 3504, P00302438; Yokoska, Savatier, No. 1419, P00302439.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier,

n. 1419; n. 2047; n. 3504) 6 シートを確認した。これらの標本は *Carex wahuensis* C. A. Mey. var. *robusta* Franch. & Sav. (ヒゲスゲ) であった。これらのうち 1 シートの標本 (Savatier, No. 1419, P00302439) 以外の標本 5 シートには、2010 年の J. Xian Feng による “*Carex bongardi* var. *robusta* Fr. & Sav.” の同定票に “Syntype” と記されている。最近、Jin Xiao-Feng & Zheng Chao-Zong (2013) が日本植物目録で引用されている標本 (Savatier, n. 1419) を *Carex bongardi* Boott var. *robusta* Franch. & Sav. の Lectotype に選定しているが、今回の調査では、どのシートであるかは特定できなかった。ヒゲスゲをハワイの *Carex wahuensis* C. A. Mey の亜種とする場合には、*Carex wahuensis* C. A. Mey subsp. *robusta* (Franch. & Sav.) T. Koyama が使われるが、独立種とする場合には *Carex boottiana* Hook. & Arn. が採用される。なお、“insula Parry” は、久内 (1939) によると横須賀市の猿島を示す。

**2097. *Carex filiculmis* Franch. & Sav., Enum.**

Pl. Jap., 2(1): 137 (1877), 2(2): 563-564 (1878)  
 “Hab. in locis umbrosis: Nippon, juxta Yokoska (Savatier, n. 1424bis). Fl. April.  
 Yokoska, Savatier, No. 1424bis, P00280354; ibid., P00280454.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1424bis) 2 シートを確認した。これらの標本は *Carex mitrata* Franch. var. *aristata* Ohwi (ノゲヌカスゲ) であった。このうち 1 シートの標本 (P00280354) には “Type” のラベルとスケッチが貼付され、1957 年の T. Koyama (小山鐵夫) による “*Carex leucochlora* Bunge var. *filiculmis* (Franch. & Sav.) Kitag.” の同定票が貼付されている。*Carex filiculmis* Franch. & Sav. が、*Carex mitrata* Franch. var. *aristata* Ohwi の異名であることは勝山 (2001) により報告されている。

**2098. *Carex aphanandra* Franch. & Sav., Enum.**

Pl. Jap., 2(1): 137, 139 (1877), 2(2): 564 (1878)  
 “Hab. in rupibus umbrosis: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 3488). Fl. Maj.  
 Hakone, Savatier, No. 3488, P00280348 (Fig. 16); Hakone, 1875, Savatier, No. 3488, P00280349, Hakone, Savatier, No. 3488, P00280396.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3488) 3 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00280348, Fig. 16) には、1957 年の T. Koyama (小山鐵夫) による、“*Carex*

*leucochlora* Bunge var. *aphanandra* (Franch. & Sav.)” の同定票が貼付され、“Type” のラベルとスケッチが貼付され、1 シートの標本 (P00280349) には、“Isotype” のラベルが貼付されていた。また、MNHN-DB には、横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 3488, P00280309) があるが、“Yokoska” の採集地は、日本植物目録に見られず、3488 の部分は鉛筆書きである上に、この標本は *Carex meridiana* (Akiyama) Akiyama (イソアオスゲ) だと同定される。

なお、*Carex aphanandra* Franc. et Sav. の和名は、勝山 (1993) ではメアオスゲ (日本の丘陵から低山地に生える小型のアオスゲ類) があてられた。その後、その基準標本とされる Savatier No. 3488 が検討され、それが日本のブナ帯からシラビソ帯にはえる小型のアオスゲ類であったことから、勝山 (2001, 2005) は台湾のニイタカスゲ *Carex morrisonicola* Hayata と同一のものとして扱い、早くに発表された *Carex aphanandra* Franch. & Sav. に対して、和名をニイタカスゲとした。しかし、台湾産のニイタカスゲ *Carex morrisonicola* Hayata については、日本のブナ帯やシラビソ帯に生えるものとは異なる可能性があり、その取扱いについては今後の検討課題である。なお、メアオスゲについては、勝山 (2001, 2005) は、*Carex candolleana* H. Lév. et Vaniot に対して使用している。

**2099. *Carex fibrillosa* Franch. & Sav., Enum. Pl.**

Jap., 2(1): 137, 139 (1877), 2(2): 564-565 (1878)  
 “Hab. ad margines silvarum: Nippon, circa Yokoska (Savatier, 2217, 2218). Fruct. mat. Jul.  
 Yokoska, Savatier, No. 2217, P00280350; ibid., P00280351; ibid., P00280352; ibid., Savatier, No. 2218, P00280353.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2217; n. 2218) 4 シートを確認した。これらの標本には、1957 年の T. Koyama (小山鐵夫) による “*Carex leucochlora* Bunge var. *fibrillosa* (Franch. & Sav.) T. Koyama” の同定票が貼付され、台紙に “Syntype” と記されている。*Carex fibrillosa* Franch. & Sav. (ハマアオスゲ) は現在も正名である。

**2105. *Carex montana* L. var. *oxyandra* Franch.**

& Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 141 (1877), 2(2): 565-566 (1878)  
 “Hab. in umbrosis collium: Nippon, circa Yokoska haud frequens (Savatier, n. 1412). Fl. Maj.

Yokoska, Savatier, No. 1412, P00293172; *ibid.*, P00293173.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1412) 2 シートを確認した。このうちの 1 シートの標本 (P00293172) には 1999 年の F. Miyamoto (宮本 太) による “*Carex montana* L. var. *oxyandra* Franch. & Sav.” の “Holotype” とする同定票が貼付され、もう 1 シートの標本 (P00293173) には、“Isotype” とするラベルとスケッチが貼付されていた。*Carex montana* L. var. *oxyandra* Franch. & Sav. は *Carex oxyandra* (Franch. & Sav.) Kudo (ヒメスゲ) の基礎異名である。

**2106. *Carex nervata* Franch. & Sav., Enum. Pl.**

Pl. Jap., 2(1): 141 (1877), 2(2): 566 (1878)  
“Hab. in rupestribus umbrosis: Nippon, in tractu Hakone (Savatier, n. 3498). Fl. Maj.  
Hakone, Savatier, No. 3498, P00292165; *ibid.*, P00292166.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3498) 2 シートを確認した。このうちの 1 シートの標本 (P00292165) には、“Type” のラベルが、もう 1 シートの標本 (P00292166) には、“Isotype” のラベルとスケッチが貼付されている。*Carex nervata* Franch. & Sav. (シバスゲ) は現在も正名である。

**2107. *Carex amphora* Franch. & Sav., Enum.**

Pl. Jap., 2(1): 142 (1877), 2(2): 566-567 (1878)  
“Hab. in rupestribus umbrosis: Nippon, in tractu Hakone (Savatier, n. 3494). Fl. Maj.  
Hakone, Savatier, No. 3494, P00294116; *ibid.*, P00294117; *ibid.*, P00294118.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3494) 3 シートを確認した。うち 1 シートの標本 (P00294116) には、“Type” のラベルとスケッチが、2 シートの標本 (P00294117; P00294118) には、“Isotype” のラベルが貼付されている。これらの標本は *Carex pisiformis* Boott (ホンモンジスゲ) であった。*Carex amphora* Franch. & Sav. は *Carex pisiformis* Boott の異名とされている。

**2114. *Carex pseudoconica* Franch. & Sav., Enum.**

Pl. Jap., 2(1): 144 (1877), 2(2): 570-571 (1878)  
“Hab. in silvis apertis: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 3496); in tractu Niko (*id.*, n. 2223). Fl. Maj.  
Hakone, 1875, Savatier, No. 3496, P00299939 (Fig. 17).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3496) 1 シートを確認した。また、この他、神奈川県外の採集品であるが、日本植物目録に引用されている日光で採集された標本 (Savatier, No. 2223, P00299940, Fig. 18) も確認した。これらの標本は *Carex sachalinensis* F. Schmidt var. *iwakiana* Ohwi (コイトスゲ) であった。*Carex pseudoconica* Franch. & Sav. は *Carex sachalinensis* F. Schmidt var. *iwakiana* Ohwi の異名とされている。

**2127. *Carex macroglossa* Franch. & Sav., Enum.**

Pl. Jap., 2(1): 148 (1877), 2(2): 576 (1878)  
“Hab. in locis uliginosis: Nippon, circa Yokoska (n. 1414). Fl. Maj.  
Yokoska, Savatier, No. 1414, P00284356; *ibid.*, P00284357.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1414) 2 シートを確認した。*Carex macroglossa* Franch. & Sav. は *Carex parviflora* Boott var. *macroglossa* (Franch. & Sav.) Ohwi (コジュズスゲ) の基礎異名である。

**2131. *Carex transversa* Boott  $\beta$ . *dissociata* Franch.**

& Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 149-150 (1877)  
“Hab. in humidis umbrosis: Nippon, circa Yokoska frequentissima (Savatier, n. 1423, 2048, 2756, 2772). In insula Sikok detexit Rein (Savatier, n. 3558). Fl. & Fr. Maj. Jun.  
Yokoska, Savatier, No. 2048, P00302135; *ibid.*, Savatier, No. 2756, P00302138.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2048; n. 2756) 2 シートを確認した。これらの標本は *Carex transversa* Boott (ヤワラスゲ) であった。*Carex transversa* Boott  $\beta$ . *dissociata* Franch. & Sav. は *Carex transversa* Boott の異名とされている。

**2137. *Carex viridula* Franch. & Sav., Enum. Pl.**

Jap., 2(1): 151 (1877), 2(2): 579 (1878)  
“Hab. in locis umbrosis : Nippon, in montibus Hakone (Savatier, 3484bis). Fl. fr. Maj.  
Hakone, Savatier, No. 3484bis, P00300298; Hakone, 1875, P00300299.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3484bis) 2 シートを確認した。これらの標本は *Carex curvicolis* Franch. & Sav. (ナルコスゲ) であった。このうちの 1 シートの標本 (P00300298) には “Type” のラベルとスケッチ、1904 年の Kükenthal による “*Carex curvicolis*

Franch. & Sav.”の同定票が貼付されており、もう1シートの標本(P00300299)には“Isotype”のラベルが貼付されている。*Carex viridula* Franch. & Sav. は *Carex curvicolis* Franch. & Sav. であるとされるが、*Carex viridula* Michx. の後続同名で無効名である。

**2139. *Carex aphanolepis* Franch. & Sav.,**  
Enum. Pl. Jap., 2(1): 152 (1877), 2(2): 580-581 (1878)

“Hab. in locis umbrosis: Nippon, in montibus Hakone (Savatier, n. 3490bis). Fl. fr. Maj. Hakone, Savatier, No. 3490bis, P00284503; *ibid.*, P00284504.

日本植物目録に引用されている標本(Savatier, n. 3490bis) 2シートを確認した。この他、日本植物目録には引用されていないが、箱根で採集された“Type”のラベルが貼付された標本(Savatier, No. 2139, P00277610, Fig. 19)と“Isotype”のラベルが貼付された標本(Savatier, No. 2139, P00277611, Fig. 20)を確認した。MNHN-DBでは、このうちの1シートの標本(Savatier, No. 2139, P00277610)がHolotype、もう1シートの標本(Savatier, No. 2139, P00277611)がIsotypeとされている。*Carex aphanolepis* Franch. & Sav. (エナシヒゴクサ)は現在も正名である。

**2140. *Carex trichostyles* Franch. & Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(1): 152 (1877), 2(2): 581 (1878)

“Hab. in nemoribus: Nippon, ad Hakone & in fructicetis regionis inferioris montis Fudsi yama (Savatier, n. 3490); circa Yokoska, hinc inde in collibus (*id.*, n. 2062). Fl. fr. Maj. Yokoska, Savatier, No. 2062, P00284440; *ibid.*, P00284441.

日本植物目録に引用されている標本(Savatier, n. 2062) 2シートを確認した。この他、神奈川県外で採集されたものであるが、同じく日本植物目録に引用されている富士山で採集された標本(Savatier, No. 3490, P00284439)も併せて確認した。これらの標本は *Carex japonica* Thunb. (ヒゴクサ)であった。*Carex trichostyles* Franch. & Sav. は *Carex japonica* Thunb. の異名とされている。

**2146. *Carex nutans* Host var. *japonica* Franch. & Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(1): 154 (1877), 2(2): 582 (1878)

“Hab. in orizetis et locis uliginosis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1404, 2750); Kamakoura

(*id.*, n. 3499, 3500). Fl. April. fr. Maj.

Yokoska, Savatier, No. 1404, P00294468; *ibid.*, P00294469; *ibid.*, P00294523.

日本植物目録に引用されている標本(Savatier, n. 1404) 3シートを確認した。これらの標本は *Carex pumila* Thunb. (コウボウシバ)であった。*Carex nutans* Host var. *japonica* Franch. & Sav. は *Carex pumila* Thunb. の異名とされている。

**2147. *Carex platyrhyncha* Franch. & Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(1): 154-155 (1877), 2(2): 582 (1878)

“Hab. in locis uliginosis: Nippon media, circa Yokoska (Savatier, n. 2050). Fl. fr. maj. Jun. Yokoska, Mai 1873, Savatier, No. 2050, P00294467; Yokoska, Savatier, No. 2050, P00294505.

日本植物目録に引用されている標本(Savatier, n. 2050) 2シートを確認した。このうち1シートの標本(P00294467)には“Type”のラベルが貼付されていた。これらの標本は *Carex pumila* Thunb. (コウボウシバ)であった。*Carex platyrhyncha* Franch. & Sav. は *Carex pumila* Thunb. の異名とされている。

**2161. *Phreum japonicum* Franch. & Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(1): 158 (1877)

“Hab. in Jâponia, ex Keiske, Siebold, Buerger. Nippon, in arenosis maritimis prope Yokoska (Savatier).

Yokoska, Savatier, s.n., P02261671 (Fig. 21).

日本植物目録には採集者の標本番号は示されておらず、“Yokoska (Savatier)”とだけある。今回、確認した上記の標本にも採集者の標本番号は記されていないが、スケッチが貼付されており、基準標本であると思われる。*Phreum japonicum* Franch. & Sav. は *Phreum paniculatum* Huds. (アワガエリ)の異名とされている。

なお、この標本は、田中ほか(2015)により、神奈川県絶滅植物の証拠標本としても報告したものである。

**2175. *Panicum viride* L. β. *gigantea* Franch. & Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(1): 162 (1877)

“Hab. cum præcedente.

Yokoska, Savatier, No. 1445, P02609979.

小崎(2001)によると、上記の記載文中の、“præcedente”は“Hab. in locis cultis: Nippon, circa Yokoska frequens (Savatier, n. 1445). Fl. Aug.”を指し、ここに示した標本は、ここに引用されている標本(Savatier, n. 1445)であるが、

ラベルに変種名 *β. gigantea* Franch. & Sav. は書かれていない。基準標本としての取扱いについては、他の標本も含め、さらに検討が必要である。*Panicum viride* L. *β. gigantea* Franch. & Sav. は、*Setaria × pycnocomma* (Steud.) Henrard ex Nakai (オオエノコロ) の異名とされている。

**2176. *Panicum pachystachys* Franch. & Sav.,**

Enum. Pl. Jap., 2(1): 162 (1877), 2(2): 594 (1878)  
“Hab. in arenosis humidis: Nippon, ad promontorium Mela prope Yokoska (Savatier, n. 1447); in cultis regionis submontanæ tractûs Nikô (id., n. 2237, 2329). Fl. Aug.

Yokoska, Savatier, No. 1447, P02247723 (Fig. 22);  
ibid., Savatier, No. 2237, P02247725 (Fig. 23).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1447; n. 2237) 2 シートを確認した。檜山 (1954) は、フランシェとサヴァチエの記載文から、本種 *Panicum pachystachys* Franch. & Sav. の和名をムラサキハマエノコロとしているが、今回確認した標本では、“ムラサキ” 色が脱色しているように見える。なお、これらのうち 1 シートの標本 (Savatier, No. 1447, P02247723, Fig. 22) には、ラベルに、“sp. nov.” と記されている。また、もう 1 シートの標本 (Savatier, No. 2237, P02247725, Fig. 23) の採集地は、日本植物目録では、“Nikô” とされているが、標本のラベルには“Yokoska” と記されている。和名の取り扱いや“ムラサキ” 色についての検討が必要であるが、*Panicum pachystachys* Franch. & Sav. は、*Setaria viridis* (L.) P. Beauv. var. *pachystachys* (Franch. & Sav.) Makino & Nemoto (ハマエノコロ) の基礎異名である。

**2195. *Calamagrostis hakonensis* Franch. &**

**Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(1): 168 (1877), 2(2): 599 (1878)

“Hab. in umbrosis silvarum regionis subalpinæ: Hakone (Savatier, n. 1470). Fl. Jun.

Hakone, Savatier, No. 1470, P00172069; ibid., P00172074; ibid., P00740463.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1470) 3 シートを確認した。そのうちの 1 シートの標本 (P00172074) には、“Holotype” のラベルが貼付され、2 シートには、“Isotype” のラベルが貼付され (P00740463)、オリジナルラベルに“Isotype” と記されていた (P00172069)。*Calamagrostis hakonensis* Franch. & Sav. (ヒメノガリヤス) は現在も正名として扱われている。

**2198. *Calamagrostis nipponica* Franch. & Sav.,**

Enum. Pl. Jap., 2(1): 168 (1877), 2(2): 599-600 (1878)

“Hab. in locis umbrosis, ad margines silvarum: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1468). Fl. Sept. Nov.

Yokoska, Savatier, No. 1468, P00172106; ibid., P00740456; ibid., P00740457.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1468) 3 シートを確認した。これらの標本には、それぞれに“Syntype” のラベルが貼付されていた。また、この他、“Syntype” と記された横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 2198, P00172107; ibid., P00740458; ibid., P00740459) 3 シートを確認したが、これらの標本は日本植物目録には引用されていない。今回確認した標本は *Calamagrostis brachytricha* Steud. (ノガリヤス) であった。*Calamagrostis nipponica* Franch. & Sav. は *Calamagrostis brachytricha* Steud. の異名とされている。

**2199. *Calamagrostis sciuroides* Franch. & Sav.,**

Enum. Pl. Jap., 2(1): 168-169 (1877), 2(2): 600 (1878)

“Hab. in sepibus et silvaticus: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 2563). Fl. Sept. Oct.

Yokoska, Savatier, No. 2563, P00172143; ibid., P00172149; ibid., P00740461; ibid., P00740462.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2563) 4 シートを確認した。2 シートの標本 (P00172143; P00740462) には、“Isotype” のラベルが貼付され、1 シートの標本 (P00740461) には、ラベルに“Type” と記されている。なお、残る 1 シートの標本 (P00172149) には“Type” の記載はないが、1924 年の T. Nakai (中井猛之進) による“*Calamagrostis brachytricha* Steud. の同定票が貼付されている。今回確認した標本は *Calamagrostis brachytricha* Steud. (ノガリヤス) であった。*Calamagrostis sciuroides* Franch. & Sav. は *Calamagrostis brachytricha* Steud. の異名とされている。

**2201. *Calamagrostis robusta* Franch. & Sav.,**

Enum. Pl. Jap., 2(1): 169 (1877), 2(2): 600-601 (1878).

“Hab. in graminosis, ad margines silvarum: Nippon, circa Yokoska rarior (Savatier, n. 1469). Fl. Oct.

Yokoska, Savatier, No. 1469, P00172134; ibid., P02650436; ibid., P02650437.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier,

n. 1469) 3 シートを確認した。これらの標本は *Calamagrostis brachytricha* Steud. (ノガリヤス) であった。 *Calamagrostis robusta* Franch. & Sav. は *Calamagrostis brachytricha* Steud. の異名とされている。

**2270. *Zoysia macrostachya* Franch. & Sav.,**  
Enum. Pl. Jap., 2(1): 187 (1877), 2(2): 608 (1878)

“Hab. in arenosis humidis: Nippon, ad Yokoska (Savatier, n. 1501bis). Fl. Aug.

Yokoska, Savatier, No. 1501bis, P00745708.

日本植物目録で引用されている標本 (Savatier, n. 1501bis) 1 シートを確認した。この標本には、2000 年の S. J. Anderson による “*Zoysia macrostachya* Franch. & Sav.” の “Isotype” とする同定票が貼付されている。 *Zoysia macrostachya* Franch. & Sav. (オニシバ) は現在も正名である。

**2280. *Pollinia japonica* Miq. *α. polystachya***  
**Franch. & Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(1): 190 (1877)

“Hab. in locis humidis, in orizetis: Nippon (Keiske); in scrobibus, ad vias circa Yokoska (Savatier, n. 2565). Fl. Oct.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2565) は見出せなかった。しかし、変種名 *α. polystachya* は書かれていないが、横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P03247222, Fig. 24) 1 シートを確認した。この標本は *Microstegium vimineum* (Trin.) A. Camus (アシボソ) であった。 *Pollinia japonica* Miq. *α. polystachya* Franch. & Sav. は、 *Microstegium vimineum* (Trin.) A. Camus の異名とされている。

**2281. *Leptatherum japonicum* Franch. & Sav.,**  
Enum. Pl. Jap., 2(1): 190-191 (1877), 2(2): 609-610 (1878)

“Hab. in locis humidis, in orizariis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1507, 2557). Fl. Oct.

Yokoska, Savatier, No. 1507, P01992405; Yokoska, Savatier, No. 2281, P01992406; Yokoska, Savatier, No. 1507, P01992407; ibid., P01992408; Yokoska, Savatier, No. 2557, P01992412; ibid., P01992413; ibid., P01992418; ibid., P01992424; ibid., P01992425; Yokoska, Savatier, No. 1507, P01992426; ibid., Savatier, No. 2557, P01992427.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier,

n. 1507; n. 2557) 11 シートを確認した。これらの標本は *Microstegium japonicum* (Miq.) Koidz. (ササガヤ) であった。これらのうち 4 シートの標本 (Savatier, No. 1507, P01992405; ibid., P01992408; Savatier, No. 2557, P01992412; ibid., P01992413) には “Syntype” のラベルが貼付されていた。また、1 シートの標本 (Savatier, No. 1507, P01992426) には、“Yokohama” などと記されたもう 1 枚のラベルが貼付されており、もう 1 シートの標本 (Savatier, No. 2557, P01992424) には、1926 年の G. Koizumi (小泉源一) による “*Pollinia japonica* Miq.” の同定票が貼付されている。 *Pollinia japonica* Miq. は *Microstegium japonicum* (Miq.) Koidz. (ササガヤ) の基礎異名であり、 *Leptatherum japonicum* Franch. & Sav. は異名とされている。

**2284. *Andropogon brevifolius* Sw. var. *pullus***  
**Franch. & Sav.,** Enum. Pl. Jap., 2(2): 610 (1878)

“Hab. in graminosis, ad vias & etiam in muris: Nippon, prope Iwajagama (Buerger); circa Yokoska (Savatier, n. 1509). Fl. Oct.

Yokoska, Savatier, No. 1509, P01928136.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1509) 1 シートを確認した。この標本には、“Type” のラベルが貼付されているほか、1965 年に S. T. Blake により “Type (or Syntype ?)” と記されている。 *Andropogon brevifolius* Sw. var. *pullus* Franch. & Sav. は、 *Schizachyrium brevifolium* (Sw.) Nees ex Buse (ウシクサ) に含まれる。

**2307. *Selaginella nipponica* Franch. & Sav.,**  
Enum. Pl. Jap., 2(1): 199 (1877), 2(2): 615-616 (1878)

“Hab. in umbrosis silvarum, ad pedem arborum vel in rupibus madidis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 2415); in tractu Niko (id., n. 1529bis).

Yokoska, Savatier, No. 1529bis, P00523059 (Fig. 25).

日本植物目録で引用されている標本 (Savatier, n. 1529bis) は日光産とされているが、この採集者の標本番号が記された標本 (P00523059, Fig. 25) には “Yokoska” と書かれている。この標本を基準標本とすべきであるかは検討が必要である。 *Selaginella nipponica* Franch. & Sav. (タチクラマゴケ) は現在も正名である。

なお、『神植誌 01』では、「(Savatier-2415 P)

写真-1」として基準標本を引用し、写真を示しているが、今回の調査では、日本植物目録で引用されている横須賀で採集された標本 (Savatier, n. 2415) は見出せなかった。しかし、採集者の標本番号が “No. 2415” とされる *Polystichum polyblepharum* (Roem. ex Kunze) Presl var. *polyblepharum* (イノデ) の標本 (insula Parry, No. 2415, P01503763, Fig. 26) を確認した。

**2397. *Asplenium niponicum* Mett.  $\alpha$ . minus Franch. & Sav. 1. lanceolatum Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 224-225 (1877)**

“Circa Yokoska legit Dr Savatier (n. 2577, 2580).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2577; n. 2580) は見出せなかったが、採集者の標本番号が記されていない横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P01437941) があり、*Athyrium niponicum* (Mett.) Hance (イヌワラビ) であった。この標本には、“ $\alpha$ . minus Franch. & Sav. 1. lanceolatum Franch. & Sav.” と記されていた。*Asplenium niponicum* Mett.  $\alpha$ . minus Franch. & Sav. 1. lanceolatum Franch. & Sav. は、*Athyrium niponicum* (Mett.) Hance に含まれている。

**2397. *Asplenium niponicum* Mett.  $\alpha$ . minus Franch. & Sav. 2. ovatum Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 224-225 (1877)**

“Circa Yokoska (Dr Savatier, n. 1555ter, 2572).

Yokoska, Savatier, No. 2572, P01437947; *ibid.*, Savatier, No. 1555ter, P01437951.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1555ter; n. 2572) 2 シートを確認した。この標本は *Athyrium niponicum* (Mett.) Hance (イヌワラビ) であった。*Asplenium niponicum* Mett.  $\alpha$ . minus Franch. & Sav. 2. ovatum Franch. & Sav. は、*Athyrium niponicum* (Mett.) Hance に含まれている。

**2397. *Asplenium niponicum* Mett.  $\beta$ . uropterum (Miq.) Franch. & Sav. 1. incisum Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 224-225 (1877)**

“Circa Yokoska (Savatier n. 1551).

Yokoska, 1886-1871, Savtier, No. 1551, P01437956.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1551) 1 シートを確認した。この標本は *Athyrium niponicum* (Mett.) Hance (イヌワラビ) であった。*Asplenium niponicum* Mett.  $\beta$ . uropterum (Miq.) Franch. & Sav. 1. incisum Franch. & Sav. は、*Athyrium niponicum* (Mett.)

Hance に含まれている。

**2397. *Asplenium niponicum* Mett.  $\beta$ . uropterum (Miq.) Franch. & Sav. 2. dentatum Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 224-225 (1877)**

“Circa Yokoska (Savatier n. 1547bis, 1546, 2427, 1555quater, 1550).

Yokoska, 1886-1871, Savtier, No. 2427, P01437953; *ibid.*, Savtier, No. 1547bis, P01437963.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1547bis; n. 1546; n. 2427; n. 1555quater; n. 1550) のうち 2 シート (Savtier, No. 2427, P01437953; Savatier, No. 1547bis, P01437963) を確認した。この標本は *Athyrium niponicum* (Mett.) Hance (イヌワラビ) であった。これらの標本以外に、採集者の標本番号が記されていない標本を確認したが、他の引用標本は確認できなかった。*Asplenium niponicum* Mett.  $\beta$ . uropterum (Miq.) Franch. & Sav. 2. dentatum Franch. & Sav. は、*Athyrium niponicum* (Mett.) Hance に含まれている。

**2397. *Asplenium niponicum* Mett.  $\gamma$ . longipes Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 224-225 (1877)**

“Ad Simosa legit Kramer (Savatier, n. 2014) & in montibus Hakone Dr Savatier (n. 1553).

Hakone, Savatier, No. 1553, P01437861; Simosa, Kramer (Savatier), No. 2014, P01437952.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1553; n. 2014) 2 シートを確認した。これらの標本は *Athyrium niponicum* (Mett.) Hance (イヌワラビ) であった。このうち 1 シートの標本 (Kramer (Savatier), No. 2014, P01437952) の採集地の “Simosa” が「下総」であれば、神奈川県外であるが、一応、取り上げた。*Asplenium niponicum* Mett.  $\gamma$ . longipes Franch. & Sav. は、*Athyrium niponicum* (Mett.) Hance に含まれている。

**2398. *Asplenium yokoscense* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 225-226 (1877)**

“Hab. in colis humidis silvarum: Nippon media, circa Yokoska (Savatier, n. 1552, 1555bis, 2426). Hakone (*id.*, n. 1554).

Yokoska, Savatier, No. 1552, P00279980; *ibid.*, Savatier, No. 2426, P00279981; Hakone, Juin 1871, Savatier, No. 1554, P00279982; Yokoska, Savatier, No. 1552, P00301493.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier,

n. 1552; n. 2426; n. 1554) 4 シートを確認した。うち 1 シートの標本 (Savatier, No. 2426, P00279981) には、1978 年の中池による “Lectotype” のラベルとスケッチが、2 シートの標本 (Savatier, No. 1552, P00279980; Savatier, No. 1554, P00279982) には、“Syntype” のラベルが貼付されていた。*Asplenium yokoscense* Franch. & Sav. は *Athyrium yokoscense* (Franch. & Sav.) Christ (ヘビノネゴザ) の基礎異名である。

**2400. *Asplenium melanolepis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 226 (1877), 2(2): 623 (1879)**

“Hab. in insulâ Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 2419).

Yokoska, Savatier, No. 2419, P00301518 (Fig. 27).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2419) 1 シートを確認した。この標本には、1978 年の T. Nakaike (中池敏之) による “*Asplenium melanolepis* Franch. & Sav. の “Holotype” の同定票が貼付されている。*Asplenium melanolepis* Franch. & Sav. は *Athyrium melanolepis* (Franch. & Sav.) Christ (ミヤマメシダ) の基礎異名である。山本 (2001) は、ミヤマメシダはシラビソ帯の植物で、産地の横須賀は誤りではないかと記している。

**2403. *Asplenium conilii* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 227 (1877)**

“Hab. in silvis regionis montanæ. Kioussiou (de Brandt). Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1555) et in montibus Hakone.

Hakone, Savatier, s.n., P00642902.

日本植物目録に引用されている横須賀で採集された標本 (Savatier, n. 1555) は見出せなかったが、箱根で採集された標本 1 シートを見出した。この標本 (Savatier, s.n., P00642902) には、1978 年の T. Nakaike (中池敏之) による “*Asplenium conilii* Franch. & Sav.” の “Lectotype” の同定票と、1984 年の M. Kato (加藤雅啓) による “*Deparia conilii* (Franch. & Sav.) M. Kato var. *conilii*” の同定票が貼付されている。また、横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P00642901) 1 シートを見出した。この標本には、1978 年の T. Nakaike (中池敏之) による “*Asplenium conilii* Franch. & Sav.” の “Syntype” の同定票と、1984 年の M. Kato (加藤雅啓) による “*Deparia conilii* (Franch. & Sav.) M. Kato var. *conilii*” の同定票が貼付されている。*Asplenium conilii* Franch. & Sav. は、*Deparia conilii* (Franch. & Sav.) M. Kato (ホソ

バシケシダ) の基礎異名である。

**2415. *Aspidium aculeatum* (L.) Sw. β. *japonicum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 231-232 (1877)**

“Hab. in collibus, inter saxa: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n. 1582bis) et in insulâ Parry (id., n. 1582).

Yokoska, Savatier, No. 1582, P01503825 (Fig. 28).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1582bis; n. 1582) のうち、横須賀で採集された標本 (Savatier, n. 1582bis) は見出せなかったが、猿島で採集された標本 (Savatier, No. 1582, P01503825, Fig. 28) を見出した (ただし、この標本には “Yokoska” と書かれていた)。この標本は *Polystichum polyblepharum* (Roem. ex Kunze) Presl var. *polyblepharum* (イノデ) であった。*Aspidium aculeatum* (L.) Sw. β. *japonicum* Franch. & Sav. は、*Polystichum polyblepharum* (Roem. ex Kunze) Presl var. *polyblepharum* (イノデ) の異名とされている。

**2432. *Aspidium lacerum* (Thunb.) Sw. β. *bipinnatum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(1): 238-239 (1878)**

“Hab. in silvis; circa Yokoska et in insula Parry (Savatier, n. 1586bis).

Yokoska, Savatier, No. 1586bis, P00630705 (Fig. 29).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1586bis) 1 シートを確認した。小崎 (2001) は、*Aspidium lacerum* (Thunb.) Sw. β. *bipinnatum* Franch. & Sav. を「オオイタチ？」としているが、今回確認した標本は *Dryopteris lacera* (Thunb.) O. Kuntze (クマワラビ) であった。また、この標本には、1926 年の G. Koizumi (小泉源一) による “*Dryopteris lacera* (Thunb.) Kuntze” の同定票が貼付されていた。*Aspidium lacerum* (Thunb.) Sw. β. *bipinnatum* Franch. & Sav. は、*Dryopteris lacera* (Thunb.) O. Kuntze の異名とされている。なお、採集者の標本番号は記されていないが、“β. *bipinnata*” と書かれた猿島 (Yokohama ともある) で採集された標本 (Savatier, s.n., P01505633) を見出したが、この標本には、1926 年の G. Koizumi (小泉源一) による “*Dryopteris erythrosora* Kuntze” の同定票が貼付されていた。

**2432. *Aspidium lacerum* (Thunb.) Sw. γ. *subtripartitum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap.,**

2(1): 238-239 (1878)  
 “Hab. in silvis; circa Yokoska frequens (Savatier, n. 1585).

Yokoska, Savatier, No. 1585, P00630702 (Fig. 30).

植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1585) 1 シートを確認した。小崎 (2001) は、*Aspidium lacerum* (Thunb.) Sw.  $\gamma$ . *subtripartitum* Franch. & Sav. を「ヤマイタチシダ？」としているが、今回確認した標本は *Dryopteris lacera* (Thunb.) O. Kuntze (クマワラビ) であった。この標本のラベルには、変種名 “ $\gamma$ . *tripinnata*” が記されており、1926 年の G. Koizumi (小泉源一) による “*Dryopteris lacera* O. Kuntze var. *dentata* Koidz.” の同定票が貼付されている。*Aspidium lacerum* (Thunb.) Sw.  $\gamma$ . *subtripartitum* Franch. & Sav. は、*Dryopteris lacera* (Thunb.) O. Kuntze の異名とされている。

**2442. *Aspidium muticum* Franch. & Sav.,**  
 Enum. Pl. Jap., 2(1): 240-241 (1877), 2(3):  
 635-636 (1879)

“Hab. in silvis circa Yokoska (Savatier, n. 2418).  
 Yokoska, Savatier, No. 2418, P00636304.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2418) 1 シートを確認した。この標本には、1978 年の T. Nakaike (中池敏之) による “*Aspidium muticum* Franch. & Sav.” の “Lectotype” の同定票と 1987 年の “*Arachniodes mutica* (Franch. & Sav.) Ohwi” の同定票が貼付されている。*Aspidium muticum* Franch. & Sav. は *Arachniodes mutica* (Franch. & Sav.) Ohwi (シノブカグマ) の基礎異名である。

**2727. *Platanthera oreades* Franch. & Sav.  $\alpha$ .  
*brachycentron* Franch. & Sav.,** Enum. Pl.  
 Jap., 2(2): 514-515 (1878); 1789. *Platanthera*  
*keiskei* (non Miq.) Franch. & Sav., Enum. Pl.  
 Jap., 2(1): 31 (1877)

“Hab. in silvis umbrosis regionis montanae:  
 Nippon, circa Atami tractus Hakone; in monte  
 Fudsi Yama (Savatier); in monte Haksan (Rein).”

日本植物目録に採集者の標本番号は示されていないが、“Syntype” とされる “ad Atami in tractu Hakone” で採集された標本 (Savatier, s.n., P00370855) 1 シートを確認した。神奈川県外のものであるが、隣接地のものなので特に取り上げた。日本植物目録の *Platanthera oreades* Franch. & Sav. の項には、“Yama sagi sô” と記されている。*Platanthera oreades* Franch. & Sav. は、*Platanthera mandarinorum* Rchb. f. var. *oreades*

(Franch. & Sav.) Koidz. (ヤマサギソウ) の基礎異名である。

**2734. *Tofieldia stenantha* Franch. & Sav.,**  
 Enum. Pl. Jap., 2(2): 530-531 (1878); 1954.  
*Tofieldia nuda* (non Maxim.) Franch. & Sav.,  
 Enum. Pl. Jap., 2(1): 89 (1877)

“Hab. in locis humidis umbrosis tractus Hakone  
 (Savatier, n. 1235).

Hakone, Savatier, No. 1235, P00730507.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1235) 1 シートを確認した。この標本には、2009 年の J. Bourguignon による “*Tofieldia stenantha* Franch. & Sav.” の同定票に “Type” と記されている。この他、採集者の標本番号は記されていないが、“Type” のラベルとスケッチが貼付された箱根で採集された標本 (Savatier, s.n., P00730508) 1 シートも確認した。*Tofieldia stenantha* Franch. & Sav. (ハコネハナゼキシウ) は *Tofieldia coccinea* Richards. var. *gracilis* (Franch. & Sav.) T. Shimizu (チャボゼキシウ) の異名とされている。

なお、チャボゼキシウ *Tofieldia coccinea* Richards. var. *gracilis* (Franch. & Sav.) T. Shimizu の基礎異名である *Tofieldia gracilis* Franch. & Sav. の日本植物目録の記載には、産地の記載なく “Dr. Savatier (n. 3749)” が引用されているが、今回の調査ではこの標本は探索しなかった。

**2738. *Carex duvaliana* Franch. & Sav.,** Enum.  
 Pl. Jap., 2(2): 568-569 (1878); 2108. *Carex*  
*villosa* (non Boott) Franch. & Sav., Enum. Pl.  
 Jap., 2(1): 142 (1877)

“Hab. in collibus, locis humidis, umbrosis:  
 Nippon, circa Yokoska frequens.

Yokoska, Savatier, No. 1428, P00294126.

日本植物目録には、採集者の標本番号が示されていない。日本植物目録の *Carex villosa* Boott の項には、“Hab. in locis humidis: Nippon, circa Simoda (Morr. & Will.); juxta Yokoska frequens (Savatier, n. 1428). Fl. Maj.” と記されており、横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 1428, P00294126) を確認した。*Carex duvaliana* Franch. & Sav. (ケスゲ) は現在も正名である。

#### 謝辞

フランス国立自然史博物館の Marc Jeanson 博士に標本調査でお世話になった。記して感謝の意を表する。また、本研究の一部は JSPS 科研費

23501234 の助成を受けて行われた。

### 引用文献

- Franch A. & L. Savatier, 1873-1875. *Enumeratio plantarum in japonia sponte crescentium, accedit determinatio herbarum in libris japonicis So-Mokou Zoussets xylographice deloneatarum*. Vol. 1. 15+485pp. F. Savy, Paris.
- Franch A. & L. Savatier, 1877-1879. *Enumeratio plantarum in Japonia sponte crescentium : hucusque rite cognitarum, adjectis descriptionibus specierum pro regione novarum, quibus accedit determinatio herbarum : in libris japonicis Sô mokou Zoussetz, Xylographice delineatarum*. Vol. 2., 789+3pp. F. Savy, Paris.
- 久内清孝, 1939. 外国人の命名した日本地名考. 植物研究雑誌, **15** (1): 54-56.
- 檜山庫三, 1954. ハマエノコロ小記. 植物研究雑誌, **29** (10): 298.
- 神奈川県植物誌調査会編, 2001. 神奈川県植物誌 2001. 1582pp. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 勝山輝男, 1993. 日本産アオスゲ類の再検討. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (22): 53-67.
- 勝山輝男, 2001. スゲ属. 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 2001. pp. 442-483. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 勝山輝男, 2005. 日本のスゲ. 375 pp. 文一総合出版, 東京.
- 北川淑子・堀内 洋, 2001. カヤツリグサ属. 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 2001. pp. 398-415. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 西野嘉章・C. Porak, 2011. 日本近代植物学黎明期における日仏協働の実相—リュドヴィク・サヴァティエの遺産から. 植物研究雑誌, **86** (3): 170-188.
- 小原 敬, 1988. 神奈川県植物研究史 (1). 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 1988. pp. 1344-1370. 神奈川県立博物館, 横浜.
- 大場秀章, 1996. 黎明期の日本の植物研究. 大場秀章編著, 日本植物研究の歴史, 小石川植物園 300 年の歩み. pp. 67-83. 東京大学総合研究博物館, 東京.
- 大場秀章, 2003. 日本植物の研究を競った欧米諸国. 大場秀章編, シーボルトの 21 世紀. pp. 119-129. 東京大学総合研究博物館, 東京.
- 小崎昭則, 2001. 神奈川県 (一部、隣接地域を含む) を基準産地とする維管束植物 (化石を除く) の学名. 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 2001. pp. 1485-1527. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 竹中祐典, 2013. 花の沫—植物学者サヴァチエの生涯. 262pp. 八坂書房, 東京.
- 田中徳久・大西 亘・勝山輝男, 2015. サヴァチエが採集した植物標本に残る神奈川県の絶滅植物. 神奈川県自然誌資料, (36): 11-20.
- 山本 明, 2001. イワデンダ科. 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 2001. pp. 113-136. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 米倉浩司・梶田 忠, 2003. BG Plants 和名-学名インデックス (YList). Online. Available from internet: [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_main.html](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html) (downloaded on 2014-10-1).
- Xiao-Feng, Jin & Zheng Chao-Zong, 2013. *Taxonomy of Carex sect. Rhomboidales (Cyperaceae)*. xii+237pp. Science Press, Beijing.



Fig. 1. *Disporum sessile* D. Don ex Schult. & Schult. f. form. *stenophyllum* (Franch. & Sav.) Hayashi ex H. Hara (Yokoska, Savatier, s.n., P02108015).



Fig. 2. *Disporum sessile* D. Don ex Schult. & Schult. f. form. *stenophyllum* (Franch. & Sav.) Hayashi ex H. Hara (Yokoska, Savatier, s.n., P02108011).



Fig. 3. *Disporum sessile* D. Don ex Schult. & Schult. f. form. *stenophyllum* (Franch. & Sav.) Hayashi ex H. Hara (Yokoska, Savatier, No. 1247, P).



Fig. 4. *Allium macrostemon* Bunge (Yokoska, Savatier, No. 1279, P).



Fig. 5. *Cyperus flavidus* Retz. (Yokoska, Savatier, No. 2338, P01702334).

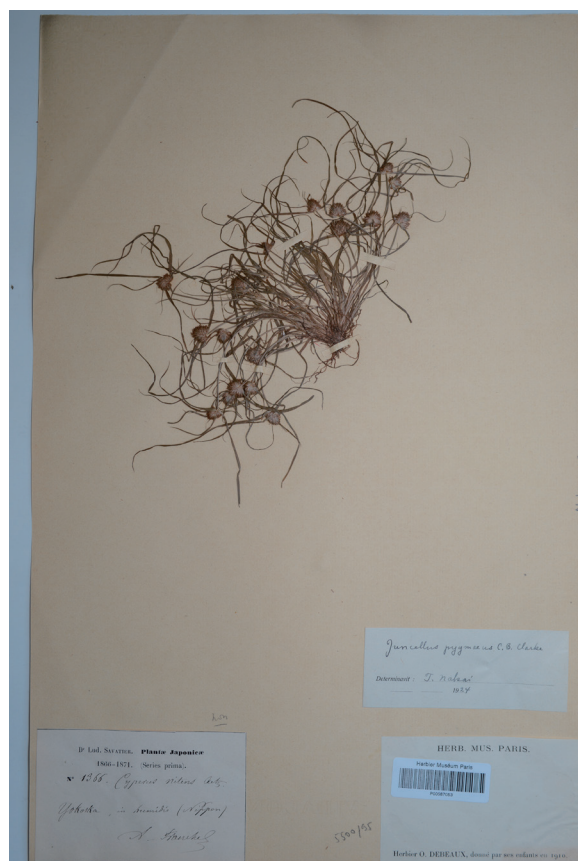


Fig. 6. *Cyperus extremiorientalis* Ohwi (Yokoska, Savatier, No. 1366, P00587053).



Fig. 7. *Cyperus flaccidus* R. Br. (Hakone, 1873, Savatier, No. 3483, P00584183).



Fig. 8. *Cyperus amuricus* Maxim. & *Cyperus microiria* Steud. (Yokoska, Savatier, No. 2888bis, P00584135).



Fig. 9. *Cyperus amuricus* Maxim. (Yokoska, Savatier, No. 2888bis, P00584136).

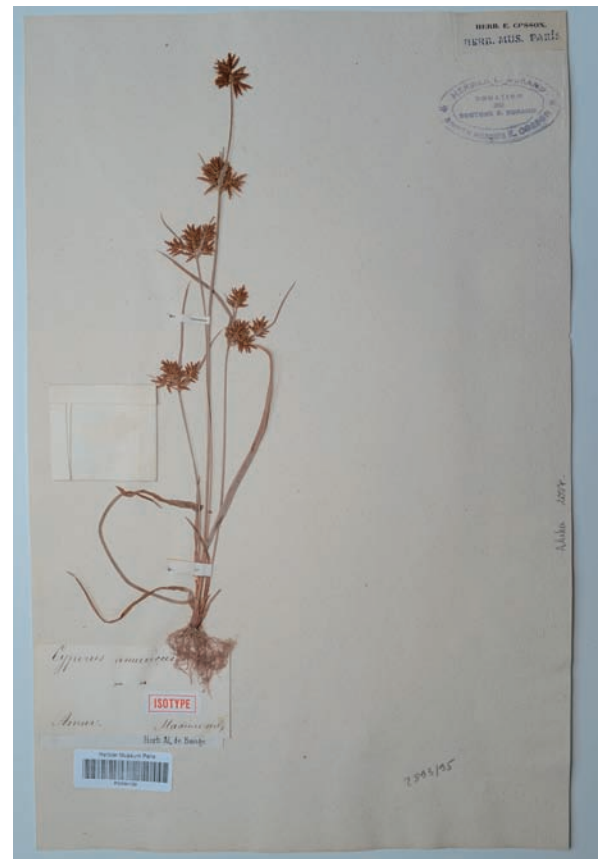


Fig. 10. *Cyperus amuricus* (Maxim. Amur, Maximowicz, s.n., P00584132).

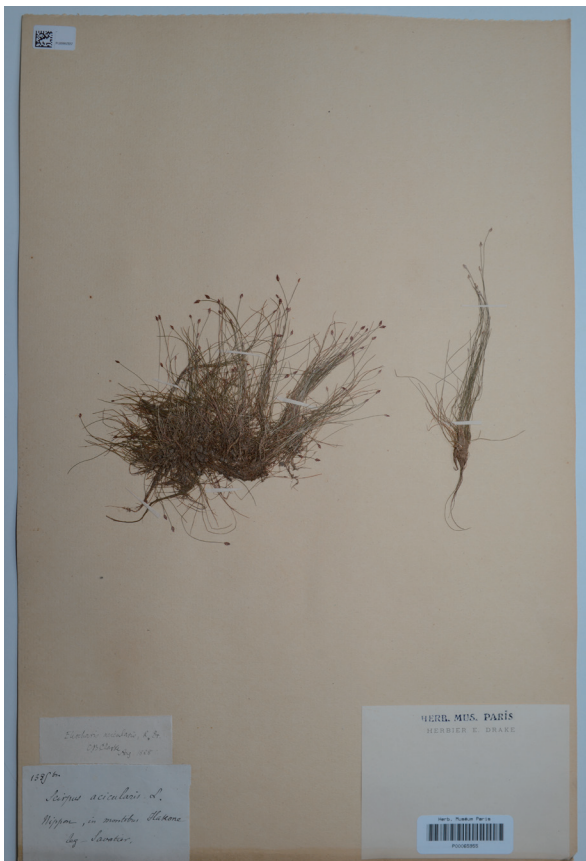


Fig. 11. *Eleocharis acicularis* (L.) Roem. & Schult. var. *longiseta* Svenson (Hakone, Savatier, 1385bis, P00065955).



Fig. 12. *Eleocharis attenuata* (Franch. & Sav.) Palla (Yokoska, Savatier, s.n. P00065904).



Fig. 13. *Schoenoplectiella triangulata* (Roxb.) Hayasa & *S. triqueter* (L.) Palla (Yokoska, Savatier, No. 1391, P00070838).

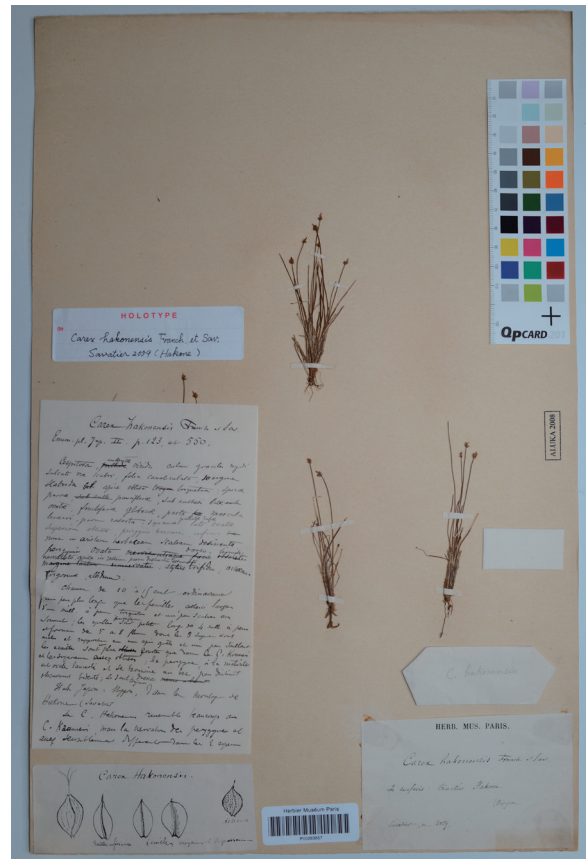


Fig. 14. *Carex hakonensis* Franch. & Sav. (Hakone, Savatier, No. 2059, P00283657).



Fig. 15. *Carex reinii* Franch. & Sav. (Hakone, Savatier, No. 3489, P00294605).

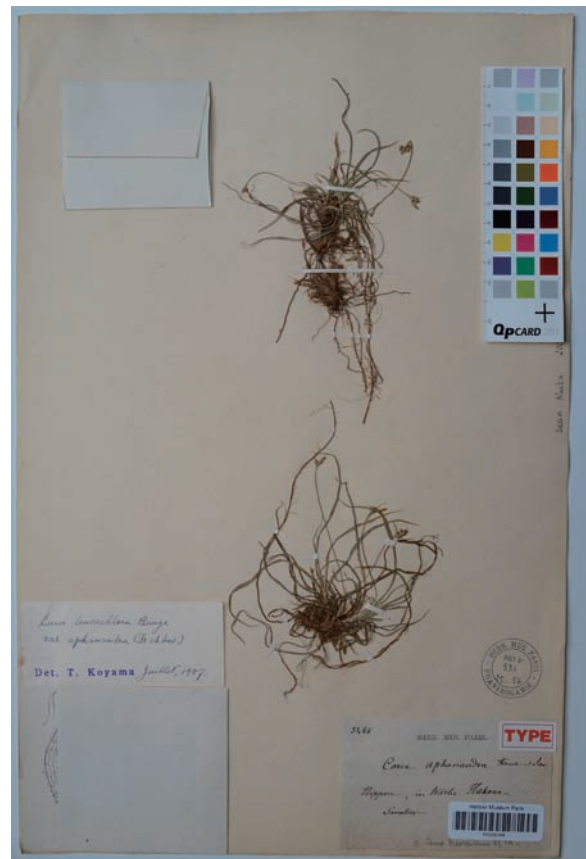


Fig. 16. *Carex aphanandra* Franch. & Sav. (Hakone, Savatier, No. 3488, P00280348).



Fig. 17. *Carex sachalinensis* F. Schmidt var. *iwakiana* Ohwi (Hakone, 1875, Savatier, No. 3496, P00299939).



Fig. 18. *Carex sachalinensis* F. Schmidt var. *iwakiana* Ohwi (Niko, Savatier, No. 2223, P00299940).



Fig. 19. *Carex aphanolepis* Franch. & Sav. (Hakone, Savatier, No. 2139, P00277610).



Fig. 20. *Carex aphanolepis* Franch. & Sav. (Hakone, Savatier, No. 2139, P00277611).



Fig. 21. *Phleum paniculatum* Huds. (Yokoska, Savatier, s.n., P02261671).

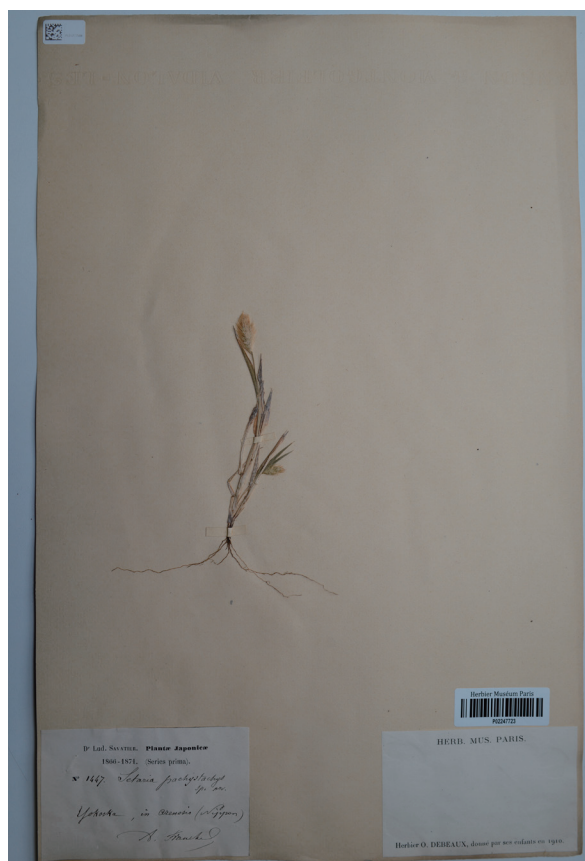


Fig. 22. *Setaria viridis* (L.) P. Beauv. var. *pachystachys* (Franch. & Sav.) Makino & Nemoto (Yokoska, Savatier, No. 1447, P02247723).



Fig. 23. *Setaria viridis* (L.) P. Beauv. var. *pachystachys* (Franch. & Sav.) Makino & Nemoto (Yokoska, Savatier, No. 2237, P02247725).

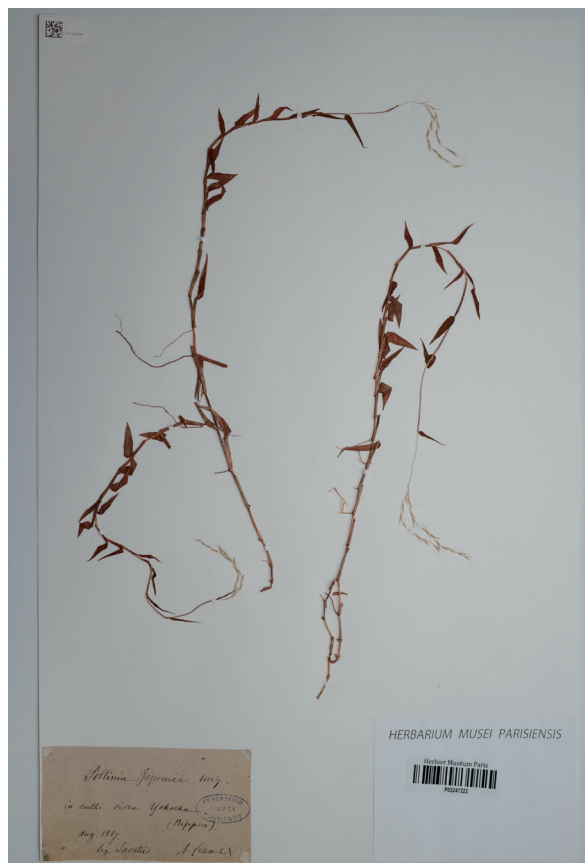


Fig. 24. *Microstegium vimineum* (Trin.) A. Camus (Yokoska, Savatier, s.n., P03247222).



Fig. 25. *Selaginella nipponica* Franch. & Sav. (Yokoska, Savatier, No. 1529bis, P00523059).



Fig. 26. *Polystichum polyblepharum* (Roem. ex Kunze) Presl var. *polyblepharum* (insula Parry, No. 2415, P01503763).



Fig. 27. *Athyrium melanolepis* (Franch. & Sav.) Christ (Yokoska, Savatier, No. 2419, P00301518).



Fig. 28. *Polystichum polyblepharum* (Roem. ex Kunze) Presl var. *polyblepharum* (Yokoska, Savatier, No. 1582, P01503825).



Fig. 29. *Dryopteris lacera* (Thunb.) O. Kuntze (Yokoska, Savatier, No. 1586bis, P00630705).



Fig. 30. *Dryopteris lacera* (Thunb.) O. Kuntze (Yokoska, Savatier, No. 1585, P00630702).

## 摘 要

田中徳久・勝山輝男・大西 亘, 2015. フランシェとサヴァリエが記載した神奈川県産シダ植物と単子葉植物の基準標本. 神奈川県立博物館研究報告(自然科学), (44): 23-48. [Tanaka, N., T. Katsuyama & W. Ohnishi, 2015. Plant Type Specimens from Kanagawa, Japan, taxonomically described by A. R. Franchet and P. A. L. Savatier: Ferns and Monocots. *Bull. Kanagawa prefect. Mus. (Nat. Sci.)*, (44): 23-48.]

フランス国立自然史博物館で P. A. ルドウィック・サヴァリエ (1830-1891) が採集し、A. R. フランシェ (1834-1904) が研究した神奈川県を基準産地とする植物の基準標本および関連標本を調査した。フランス国立自然史博物館の植物標本データベースでは、大部分の標本画像が公開されているが、標本の属性情報の登録は十分でない部分もある。本研究は、標本庫での実際の標本調査により、標本画像を取得し、生命の星・地球博物館の維管束植物画像データベース (KPM-NX) に登録し、フランス国立自然史博物館のデータベースを補完する情報を得た。ここでは、日本植物目録に掲載されているシダ植物と単子葉植物について、77 分類群の基準標本および関連標本の採集地、採集年月日、採集者名、採集者の標本番号、フランス国立自然史博物館の植物標本庫 (P) の標本番号に、コメントを付して報告した。

(受付 2014 年 10 月 31 日 ; 受理 2014 年 11 月 28 日)